

## DRIVE POSITIVE IMPACT

## 新たな価値を創造する、積水ハウスグループ

## 01

## 積水ハウスグループの価値創造と描く未来

企業理念「人間愛」のもと、お客様や社会とともに成長してきた歩みを振り返りながら、積水ハウスグループが創造してきた価値と、グローバルビジョンに込めた未来への想いをお伝えします。

## STORYLINE

01  
DRIVE POSITIVE  
IMPACT

価値創造の歩みと  
描く未来

02  
CREATE  
HAPPINESS

ここにしかない  
価値と強みの進化

03  
TRANSFORM  
SOCIETY

長期にわたり果たす  
使命と進捗

04  
INNOVATION AND  
COMMUNICATION

大切にしている  
価値観と人財価値

05  
FINANCIAL STRATEGY AND  
CORPORATE GOVERNANCE

財務資本戦略と  
コーポレートガバナンス

## 「わが家」を世界一幸せな場所にする

それが、積水ハウスのグローバルビジョンです。

私たちがつくるのは、住む人の人生に寄り添い、幸せを育む住まい。

快適さ、美しさ、世代を超えた安心、環境への配慮、大切な人とのつながり。

そのすべてをかたちにできるのは、積水ハウスグループだからこそ。

幸せのあり方が変われば、暮らしが変わる。

暮らしが変われば、やがて社会も変わっていく。

だからこそ、私たちは、一人ひとりの「幸せのあり方」までもつくりたいのです。

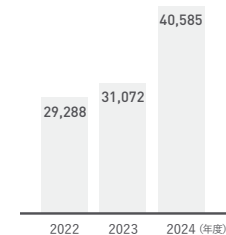
住まいからはじまる幸せを、世界へ、そして未来へ。

その想いのもと、私たちは、これからも新たな価値を紡ぎ続けていきます。

## ハイライト

## 売上高

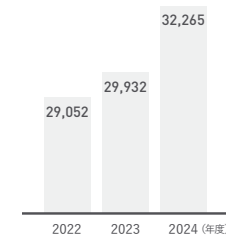
(億円)



2024年度の連結売上高は前年度比30.6%増の4兆585億円となりました。

## 従業員数

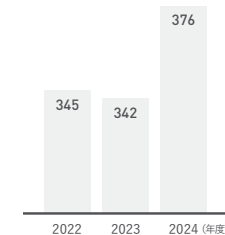
(人)



2024年度の従業員数はグループ全体で32,265人となりました。

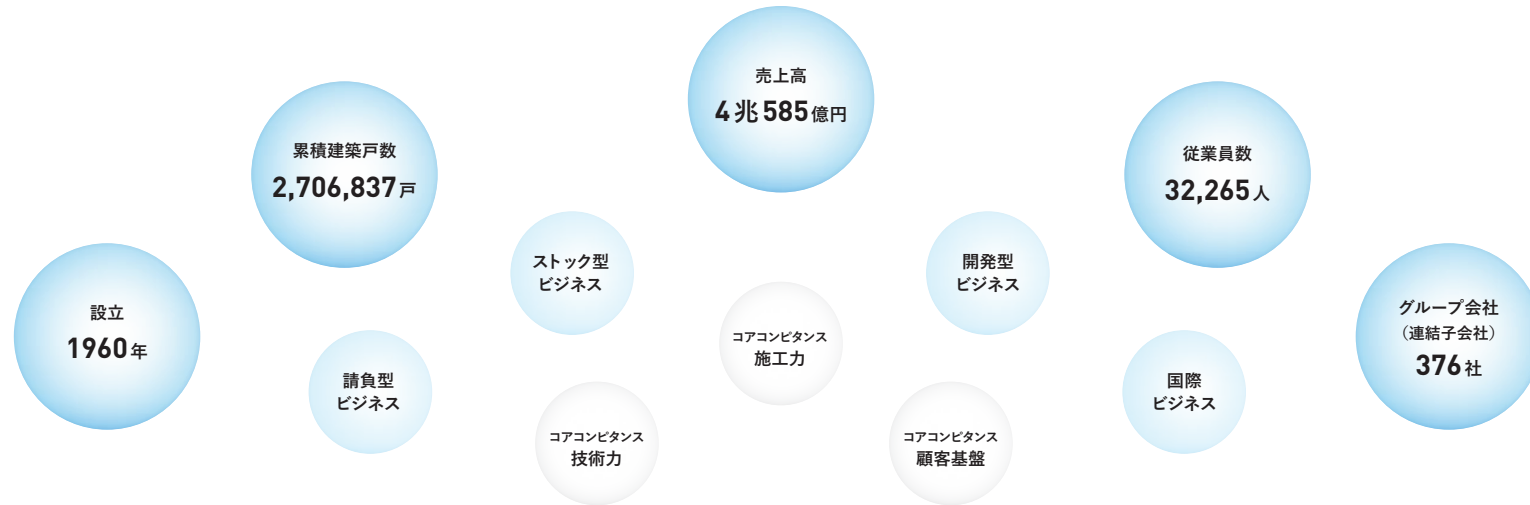
## グループ会社

(社)



376社のグループ会社とともに、事業領域の拡大と成長を実現しています。

# 積水ハウスグループ

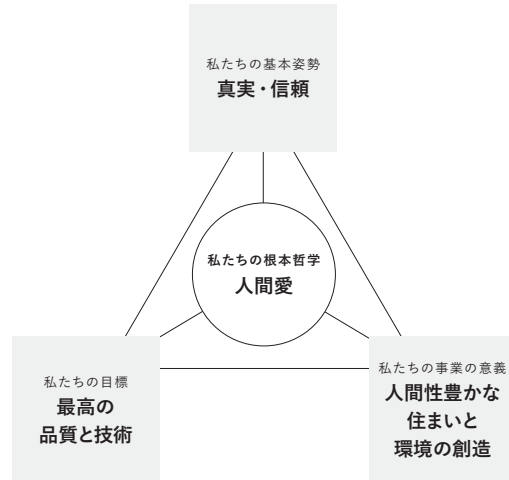


1960年に創業した積水ハウスは、60年以上にわたり住まいと向き合い続け、日本市場での強固な地位を築いてきました。現在では、「住」を基軸とした請負型、ストック型、開発型、国際の4つのビジネスを展開し、米国や豪州をはじめとするグローバル市場でも積極的に事業を繰り広げています。

技術力、施工力、顧客基盤の3つのコアコンピタンスをもとに、32,000人を超える従業員とともに、唯一無二の価値創造へ向けた歩みを進めています。

## 積水ハウスグループ

## 企業理念



## 人間愛

私たちの根本哲学

人間は夫々かけがえのない  
貴重な存在である  
と云う認識の下に、相手の幸せを願い  
その喜びを我が喜びとする  
奉仕の心を以って  
何事も誠実に実践する事である。

## 企業理念の浸透

企業理念が文化として根付き、従業員に浸透していることが積水ハウスグループの特徴です。まず、経営層や職責者が率先して企業理念に基づいた行動をとり、日々の業務の中でその考え方や想いを分かりやすく伝えることを習慣としています。

グループの全従業員を対象に毎年匿名で実施する「ガバナンス意識調査」では、企業理念への意識や行動の実践度を測定する設問を組み入れ、企業理念の浸透度や実践の状況を把握しています。

年月をかけて自然と浸透してきた企業理念が、日々の業務の中で実践されることで、積水ハウスグループならではの価値創造につながっています。

23,560人

93.04%

企業理念の根本哲学  
「人間愛」を理解し、  
行動していると思う従業員

2024年度ガバナンス意識調査  
25,323人回答  
積水ハウス株式会社および  
国内グループ各社(満池組グループ除く)

## 受け継がれる「人間愛」

積水ハウスの原点は、企業理念の根本哲学「人間愛」です。人々の命と財産を守るために創業した戦後復興期の日本でも、グローバル企業として歩みを進める今日でも、積水ハウスグループで働く従業員が「人間愛」を共通言語として捉え、実践しています。企業理念は、「何のために取り組むのか」「どの基準で判断するのか」という意思決定の羅針盤の役割を果たしています。

企業理念は、積水ハウスグループのあらゆる活動を支え続けています。たとえば、大きな自然災害が発生した時、お客様から「この家に守られた」とおっしゃっていただくことがあります。それは、高い耐震性や構造の強さといった技術力だけでなく、お客様の幸せを心から願い、その想いを込めて一邸一邸を丁寧に設計し、部材をつくり、建ててきた積み重ねがあるからなのです。

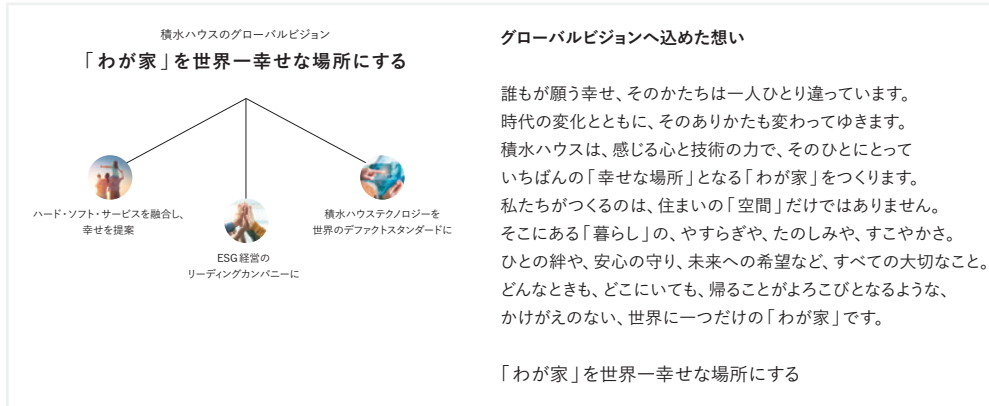
そして、自然災害が過ぎ去ったあと、積水ハウスグループの従業員や協力工事店組織「積水ハウス会」の職人さんたちは、「あのお客様は大丈夫だろうか」「今、私たちにできることは何か」と考え、会社の指示を待つことなく自発的に動き出します。いち早く被災地へ駆けつけ、お客様の安否を確認し、必要な物資を届け、少しでも早く日常を取り戻せるよう行動するのです。

それは、住まいを提供する会社としての責任ではなく、お客様の人生に寄り添い、幸せを願う想いから生まれる行動なのです。いつの時代にあっても、「人間愛」の想いは変わることなく受け継がれていきます。「運命協団体」としての意識、そして「お客様ファースト」を貫く姿勢は、今を生きる私たちの中に息づき、これからの未来へと受け継がれていきます。

## 積水ハウスグループ

### グローバルビジョン

私たちが描く未来は、誰もが幸せに暮らしている日常です。だからこそ、私たちは、一人ひとりが持つ幸せのあり方までつくりたいのです。グローバルビジョンには、そんな積水ハウスグループの想いが込められています。



### SEKISUI HOUSE\_SHIP

こういう人の集団でありたいという想いを込めた SEKISUI HOUSE\_SHIP を、世界中の積水ハウスグループの仲間とともに深めながら、価値創造を紡ぎ続けることで、グローバルビジョンを実現していきます。



### グローバルビジョン策定と SEKISUI HOUSE\_SHIP 制定のプロセス

#### 2020年 新しいフェーズのはじまり

創立60周年を迎えた2020年、「NEXT SEKISUI HOUSE 30年ビジョン」を発表。さらに、住を基軸にハード・ソフト・サービスを提供するグローバル企業を目指すため、「わが家」を世界一幸せな場所にする」というグローバルビジョンを掲げ、2050年に向けた新たな価値創造への歩みをスタートしました。

#### 2022年 積水ハウスグループのありたい姿を言語化

社会における積水ハウスグループの役割やこれまで大切にしてきた想いなどを再整理。積水ハウスグループにはどのような強みがあり、それらをどのように活かしていくのか、そして、その強みを持った積水ハウスグループは今後どうありたいのかを議論し、企業価値観として言語化しました。

#### 2024年 順調に成長を続ける、今だからこそ

積水ハウス独自の価値観や文化をより深く理解し、一人ひとりのアイデンティティや強みを大切にすることで、国内外の仲間とともに積水ハウスグループのあり方を発展させ、さらなる成長を実現していきたい。そんな想いで、「積水ハウスらしさ」を明文化した SEKISUI HOUSE\_SHIP を制定しました。

#### 大切にしたのは、一人ひとりのありたい姿

SEKISUI HOUSE\_SHIP の制定にあたり、企業価値観に基づく一人ひとりのありたい姿や大切にしたいことを、19ヵ月間にわたり経営層と従業員が対話を重ね、5つの要素にまとめました。一人ひとりが自らの考えに基づいて行動することで、積水ハウスらしさを深めていくことができると考えています。

# 住まいから創造する価値



## 安全

大切な家族を守る、地震や火災にも強く、安全に暮らせる住まい。

## 安心

資産価値を守りながら、暮らしの変化にも寄り添う、安心の住まい。

## 快適性

四季の移ろいを感じながら、一年中心地よく過ごせる快適な住まい。

## 環境配慮

未来の社会と地球のために、人にも環境にもやさしい住まい。

## 健康

日々の暮らしの中で、心も身体も健やかに保てる、健康を育む住まい。

## つながり

家族や人との絆が深まり、あたたかな時間が育まれていく住まい。

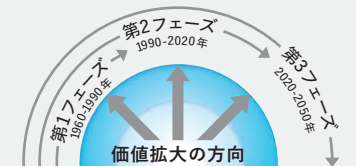
## 学び

感性を育みながら、人生を通して学びが深まる、心豊かな住まい。

積水ハウスグループの価値創造は、住まいのあり方を創造することから始まります。創業以来、安全・安心な住まいを提供し、人々の命と財産を守ることを使命としてきました。次に、快適性や環境への配慮を追求し、サステナブルな住まい方を広げてきました。そして今、それらの価値をさらに拡大しながら、健康・つながり・学びという人生100年時代の幸せにつながる新たな価値を加え、未来へと受け継がれていく幸せづくりに取り組んでいます。

## イメージ図が表すもの

コアコンピタンスである技術力・施工力・顧客基盤を活かし、さまざまな技術や思想を生み出すことで、住まいのあり方を切り拓く積水ハウスグループの歩みと、価値創造の方向性を表しています。



## 住まいから創造する価値

### Drive Positive Impact

#### 人生100年時代の幸せを、住まいから

人生100年時代を迎えるこれからの社会。価値観の多様化や少子高齢化、気候変動など、お客様や社会を取り巻く課題は複雑化しています。また、日本を含む先進国では、高度経済成長期の時代を経て、心の豊かさや暮らしの豊かさを重視する傾向が高まっています。

100年間を幸せに暮らし続けるには、いつまでも「健康」で過ごせること、家族や友人たちとのあたたかな「つながり」を育むこと、そして、生涯にわたるスキルや知識を「学び」、経験や思い出を積み重ねること。これらの無形資産が日々の暮らしに彩りを添え、幸せをもたらす重要な要素だと考え、私たちは、人生100年時代の幸せを実現する住まいづくりに取り組んでいます。

### Create Happiness

#### つくりたいのは、家だけではない

私たちが描く未来は、誰もが幸せに暮らせる日常。嬉しいと感じる瞬間、美しいと感じる時、幸せが訪れる時間は一人ひとり異なります。だからこそ、一人ひとりが持つ幸せのあり方までつくりたいのです。

住まいづくりを通じて、社会に新たな価値を創造する使命のもと誕生した積水ハウスは、技術革新や研究開発を積み重ね、創造と挑戦を繰り返しながら、常に新たな時代を牽引してきました。私たちの歩みは、生活の拠点としての住まいの役割を超え、住まい方という文化や住まう人の未来を切り拓いています。住宅性能の向上や先進的技術の開発をさらに深化させながら、一人ひとりの幸せを形にする新たな価値を創造し続けていきます。

### Transform Society

#### 未来を、より幸せに

幸せを実現することは、未来を幸せにすること。すなわち、サステナブルな社会を実現することにあります。美しい住まいやまちなみを未来へ継承していく私たちは、そこで住まう人々にも幸せでいてほしいと願っています。その想いのもと、未来を見据えた価値創造に取り組んでいます。

日々深刻化する社会課題の解決をリードする役割を担う積水ハウスグループは、「どのような価値を提供したいのか」ではなく、「どのような価値が必要となるのか」という視点で、お客様・社会・従業員の幸せに寄与する事業活動に取り組んでいます。より幸せな未来の実現へ向け、まだ誰も見たことのない社会に貢献する価値を、世界中に広げていきます。

## サブビジョン

### ハード・ソフト・サービスを融合し幸せを提案

創業からの使命である、人々の命と財産を守るハードとしての住宅の提供、ソフトとしての住まい方の提案、住まう人をアシストするサービスの深化。これらを融合し、幸せという新たな価値を創造していきます。



→ P.21  
コーポレートストーリー

### ESG経営のリーディングカンパニーに

積水ハウスグループのESG経営は、企業理念の実践。事業活動をESGと一体化し、その実践に努めることで、社会課題の解決につながる新たな価値を創造し、サステナブルな社会と当社グループの持続的な成長を実現していきます。



→ P.64-66  
ESG経営の  
リーディングカンパニー

### 積水ハウステクノロジーを世界のデファクトスタンダードに

創業以来培ってきた、安全・安心、快適性・環境配慮をあわせ持つ技術やライフスタイル提案。これらの積水ハウステクノロジーを世界へ移植することで、新たな価値を提供することを目指しています。



→ P.107-113 国際事業

## 幸せをつくる積水ハウスグループの従業員

積水ハウスグループには、お客様の幸せを本気で考える従業員がいます。幸せをつくるのは、積水ハウスという会社ではなく、そこで働く一人ひとりの想い。その想いが重なり合うことで、世界に一つしかない住まいが生まれるのです。

たとえば、ある設計士。お客様の話を聞くときは、まるで家族のことを考えるように真剣です。「この家でどんな時間を過ごすのかな?」「どんな未来を思い描いているのかな?」そんなことを考えながら、一つひとつのプランを描き、お客様の幸せに寄り添う住まいを、心を込めて形にしているのです。

たとえば、ある現場監督。家が完成し、お引渡しするとき、お客様が涙を流して喜ぶのを見て、思わずもらい泣きしてしまったことがあるそうです。「家づくりは、人生の一大イベント。その瞬間に立ち会えることが、何よりのやりがいなんです。」その笑顔と涙が、仕事への誇りにつながっています。

そして、あるカスタマーセンターのスタッフ。大きな台風の後、安否確認の電話をかけた際、「心配してくれてありがとう」と言われ、思わず胸が熱くなったと言います。「困った時に、真っ先に積水ハウスを思い出してもらえる存在でありたい。」そんな想いで、日々お客様と向き合っています。

それぞれの役割は違うけれど、幸せへの情熱が積水ハウスグループの従業員に共通していること。それが、私たちの強みなのです。

### 一人ひとりがつくった、幸せのかたち



新たな設備で新たな働きやすさを。社員に笑顔が生まれる現場。



自分の家族を想うように向き合う。その先の暮らしまで寄り添えるつながり。



つくる人、住まう人。その想いを繋ぐ、みんなの笑顔が広がるマッシュン。



次の動きを、誰よりも先に考える。現場監督だからつくれる安心のあり方。



お客様の資金を、お客様以上に大切にします。真摯な姿勢で築く、心からの信頼。



要望通りだけでなく、要望を超える。技術でかなえる。当たり前の一歩先。



いつもの場所こそ、特別な場所に。見るとびに気持ち華やかく、暮らしの入り口。



社員がパフォーマンスを発揮できる、何事もない。仕事風景。



丁寧に、ひとつひとつを積み重ねて。私への信頼が、企業への信頼に変わる瞬間。

## 積水ハウスグループのリーダーシップ

社長という、会社をつくる立場という印象を持たれるかもしれませんが、それ以上に、従業員の皆さんと一緒に、どのようにお客様へ新たな価値をつくっていくかを常に考えています。

“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンは、一見当たり前のようで、実はこれまでの積み重ねがあったからこそ言える、お客様に寄り添い続ける積水ハウスグループにしかできないことなのです。

「社会人になる」ということは、「社会に対して価値を提供する立場になること」だと思います。積水ハウスグループで社会人になるのであれば、会社のあらゆる資源を使って価値を提供した方がきっと楽しいはず。思う存分、会社の資源を使って価値を提供してってください。

私たちが描く未来を実現するには、これまでとは異なるアプローチが重要です。だからこそ、これまでのやり方をドラスティックに変えてください。前例や慣習にとらわれず、ゼロベースで問い直し、本当に社会に必要とされている価値とは何かを、仲間と考え、行動してほしいのです。

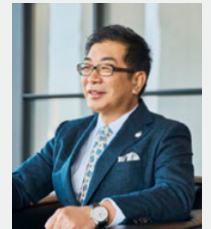
価値をつくるのは一部の人の仕事ではなく、全員が価値創造の主役になれるのです。小さなアイデアでもお客様に喜んでいただけたのであれば、そこには立派なイノベーションが起きていますよ。

従業員の方へ 「家族や友人との時間を大切に、みなさんも自分自身の幸せを育ててください。」

私たち自身、これまでの道のりで、「頑張ることが当たり前」「休むのは悪いこと」という価値観の中で生きてきました。忙しさに追われる中で、家族との時間を後回しにしたことや友人との約束を断ったこと、自分の大切なものを我慢したこともあるでしょう。でも、ふと立ち止まって考えた時、それで本当によかったのか?と問いかけることがあります。幸せな人生の中に、仕事があってもいいのではないのでしょうか。

だからこそ、従業員の方にお伝えしたいのです。「こうあるべき」という固定観念に縛られず、自分にとっての幸せを大切にしてほしいのです。たとえば、日本は祝日が多くそれに合わせて休むのが一般的かもしれませんが、でも本当は、もっと自由でいいはず。なんとなくの常識に従うのではなく、自分にとって大切な人と、大切な時間を自由に過ごせる、そんなノーマライズな社会があってもいいのではないのでしょうか。

積水ハウスグループは、自律した従業員がアイデアを出し合い、イノベーション&コミュニケーションがあふれる会社でありたいと考えています。「自律」とは、自分のことは自分で決めて、その決断に最後まで責任を持つこと。自律を望む人には、惜しみなく支援することも約束しています。極論かもしれませんが、皆さんが幸せになれば、未来も幸せになる。皆さんも、家族や友人との時間を大切に、幸せになってください。



代表取締役兼CEO 社長執行役員  
仲井 嘉浩

# コーポレートストーリー

**積水ハウスの根本哲学は「人間愛」にある。  
事業はその展開である。**

「人は住まいを創り、住まいは人を創る」と言われる。

人間として豊かに感じ、快く感じ、

安らぎを感じるような住み手本位の住まいの提供、

快適で誇らしい街並みや安全で利便性のよい環境、

あるいは近代的で合理性のある都市開発などを創造することは、

当社の社会的使命を果たすゆえんであり、

当社の存在意義であると同時に当社全員の誇りでもある。

— 「創業からの30年に見る積水ハウスの原点」より

**Our fundamental philosophy is Love of Humanity.**

**From this, our work begins – not just to build, but to care.**

*“People shape homes, and homes shape people.”*

So we create spaces with warmth – places of comfort, peace, and quiet joy.

We shape neighborhoods with grace – places of pride, belonging, and beauty.

We envision cities with intention – places of legacy, life, and tomorrow.

In these acts of creation, we fulfill our mission to society.

This is the very essence of who we are – and the pride we carry, together.

— From “The Heart of Sekisui House: A Journey Through Its First Thirty Years”



## コーポレートストーリー

## 創業ストーリー

## 誰も見たことのない、住まいをつくる

空襲により戦後の住宅不足が続いていた1950年代後半の日本。一軒でも多くの家を、より早く届けることが喫緊の課題でした。従来、日本の住宅は「木と紙と土」でできており、世界的にも鉄骨で家をつくるという考え方は存在しなかった時代。ふと目にした海外の専門誌のオールプラスチックハウスの特集をきっかけに、まだ誰も見たことのない、燃えない住まいの開発を始めたのは、建築現場未経験の4人の技術者でした。

## ここに、新しい暮らしをつくる

すべてに先例がない中、知恵を出し合い、自分たちで解決しながら完成したのは「鉄とアルミとプラスチック」でできた、人が住める家。当時の建築手法や材料の常識を覆す画期的な家でした。

1960年8月2日、積水ハウス創業の翌日に、「ここに新しい暮らしをつくる……」という創業を伝える新聞広告が掲載されました。これは、家を売る会社ではなく、暮らしをつくる会社でありたいという意志が込められていました。

## 思い切った、投資と改革

1961年に「セキスイハウスB型」を開発。ゆったりとした空間や自由設計を実現し、現在まで受け継がれている技術や思想の根幹が誕生しました。住宅不足を解消し、高品質な住まいを提供するためには、自分たちで責任を持って部材を生産する必要があると考え、滋賀工場を開設。将来を見越した工業化住宅の生産体制を整備するとともに、代理店販売から直接販売への転換や、必要な部材のみを運ぶ流通改革なども実現していきました。

## 限りなき、チャレンジの日々

将来の核となること。そして、現在ない商品をつくること。それが目標だったと、1961年に入社した従業員は振り返ります。34人でスタートした積水ハウスは、1年後の1961年には、60人ほどの営業・設計・工場担当者が一つの事務所で意見を出し合い、全員が経営者という気持ちで働いていました。見習う先発商品や追いつく相手もない中、お互いを信頼し、支え合い、ともに困難を乗り越える「仲間」として、日々開発に取り組んでいました。

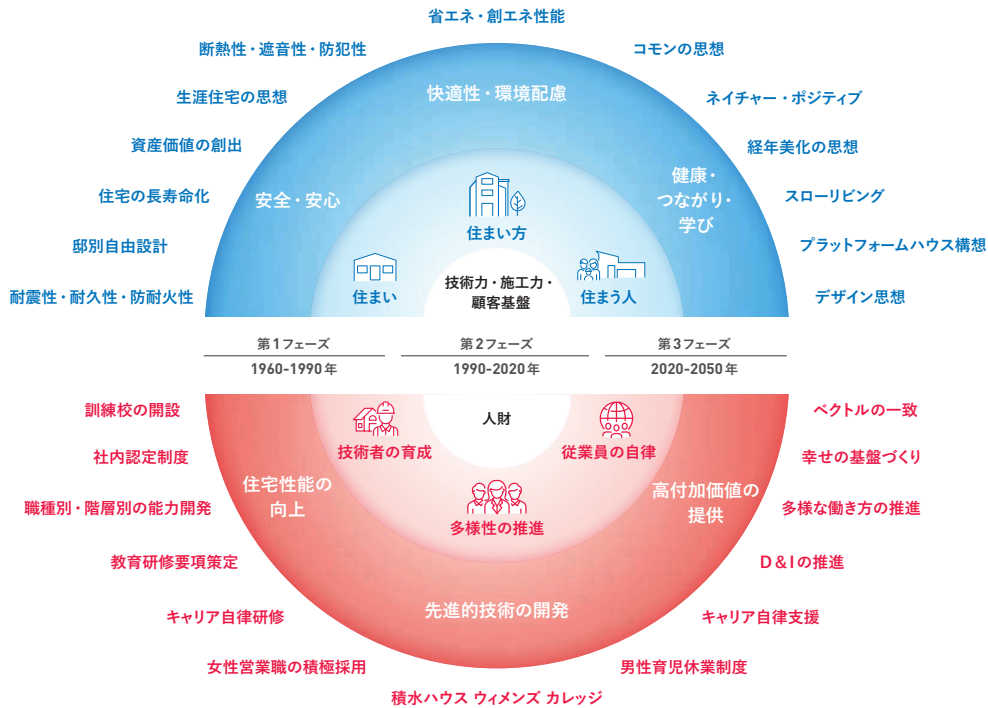
## 心を一につに、飛躍を目指す積水ハウス

常識を覆す勇氣、明日の米代の心配もなく夢を追う情熱、お客様に誠実に応える姿勢。その根底にあるのは、事業の成功や合理性だけでなく、相手の喜びや社会のために尽くしたいという想い。経営層、従業員、協力工事店の方々助け合い、沈みかけた船のようにスタートした会社を支えてきました。そこには、お互いへの愛情で結ばれた関係性があります。「相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする心」。それが、積水ハウスの原点です。



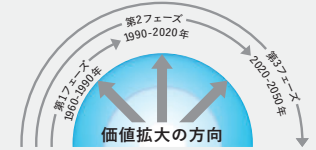
## コーポレートストーリー

## 積水ハウスグループの価値創造



## 時代とともに進化する価値創造

積水ハウスグループは、創業以来、社会の変化に寄り添いながら住まいの可能性を追求し続けてきました。戦後の住宅不足から始まり、環境問題への対応、そして、人生100年時代の到来。3つのフェーズを通じて住まいの可能性と技術を進化させながら、未来の社会に求められる新たな価値を提供し続けています。



## 【第1フェーズ】

戦後の住宅不足を解消するため、耐震性や耐久性、耐火性など住宅の基本性能向上に取り組み、住まいの「安全・安心」という価値を創造。革新的な技術を生み出し、技術を継承する技術者の育成に注力しました。



## 【第2フェーズ】

気候変動が顕在化する中、断熱性や住宅の省エネルギー化に取り組むことで、住まいの「快適性・環境配慮」という価値を創造。多様な視点を持つ人財が活躍できる環境づくりに注力し、先進的な技術やサービス開発につなげていきました。



## 【第3フェーズ】

人生100年時代の幸せを実現する住まいを目指し、「健康・つながり・学び」という新たな価値創造へ向け、さらなる技術革新とイノベーションを創発する従業員の自律支援に努めています。



コーポレートストーリー

暮らしの未来を形にする、技術の進化

イノベーションと人財価値の向上により住まいのあり方を広げてきた積水ハウスグループは、住宅品質（ハード）の向上に加え、住まい方の提案（ソフト）と暮らしを支えるサービスを融合し、幸せという新たな価値を創造しています。

快適で環境に配慮した住まい方



住宅性能の向上 【第1フェーズ 安全・安心】1960年～	先進的技術の開発 【第2フェーズ 快適性・環境配慮】1990年～	高付加価値の提供 【第3フェーズ 健康・つながり・学び】2020年～
<p>1961 生産拠点(滋賀工場)開設</p> <p>1962 個別自由設計の思想確立</p> <p>1964 直接販売・責任施工確立</p> <p>1973 基礎工事専門会社「積和工事」設立</p> <p>1987 カスタマーズセンター設立</p> <p>1989 生涯住宅思想確立</p>	<p>1990 総合住宅研究所・納得工房</p> <p>1999 「環境未来計画」発表</p> <p>2003 資源循環センター稼働</p> <p>2004 積水ハウスのリフォーム設立</p> <p>2009 グリーンファースト戦略開始</p> <p>2018 しあわせ住まい研究所開設</p>	<p>2019 幸せをアシストするプラットフォームハウス構想発表</p> <p>2020 在宅時急性疾患早期対応ネットワーク「HED-Net」実証実験開始 * In-Home Early Detection Network</p> <p>2023 life knit design デザインシステム開始</p> <p>2025 子どもたちの感性を育む「JUNOPARK」開設</p>
<p><b>技術者の育成</b></p> <p>革新的な技術やサービスを生む人財育成と技術継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者を育成する職業訓練校</li> <li>・職種別・階層別能力開発</li> <li>・教育研修要項・認定制度</li> <li>・「運命協団体」</li> </ul>	<p><b>多様性の推進</b></p> <p>多様な視点や経験を持つ人財の活躍支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍推進・男性育児休業制度</li> <li>・障がい者雇用促進</li> <li>・キャリア自律研修</li> <li>・働き方改革・人権の尊重</li> </ul>	<p><b>従業員の自律</b></p> <p>従業員の自律とベクトルの一致を通じた人財価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア自律支援・次世代リーダー育成</li> <li>・創発型表彰制度「SHIP」</li> <li>・キャリア面談・ESG対話</li> <li>・幸せの基盤づくり</li> </ul>

## コーポレートストーリー

## 幸せを育み続ける、住まいの進化

住まいの安全・安心の追求から、環境との共生、心の豊かさを育む空間づくり、そして、人生100年時代の幸せへ。変わりゆく社会や価値観の変化とともに、私たちがつくる住まいも進化し続けています。

2020-2050年

【第3フェーズ 健康・つながり・学び】健康を守り、人とのつながりを深め、生涯にわたる学びを支えていくことが、人生100年時代を迎えるこれからの住まいの姿であると考え、住まい方やライフスタイル提案に取り組んでいます。



2020

大きな勾配天井と勾配軒下を活用した「勾配クリアビューデザイン」により、大きな樹の下にいるような空間と、まちなみに溶け込む切妻屋根の木造住宅を実現



2020

窓を開けず換気・空気清浄を行い、花粉やPM2.5などの汚染物質を除去し、家の空気を常に綺麗に保つ次世代室内環境システムの採用により、快適な住環境を提供



2021

外出先から住まいと家族を見守る間取り連携スマートホームサービスにより、住宅設備の遠隔操作や家の状態確認をスマホ一つで可能にする暮らしを実現



2023

住む人の感性を反映するデザイン提案システムにより、感性に響く心地よさや、まちなち調和するエクステリアにより、「時間と共に愛着を編み込む」住まいを提案



2024

南カリフォルニア州に誕生した米国初のシャードウッドコミュニティ「Sommers Bend(サマーズベンド)」は、シャードウッド独自の構法による安全性・快適性・美しいデザインが高く評価され、米国住宅業界において複数の権威ある賞を獲得。



1990-2020年

【第2フェーズ 快適性・環境配慮】世界的に地球環境問題が顕在化し、「豊かさ」を再定義する時代を迎える中、自然と共生しながらも、エネルギー効率の高い住まいや快適な居住空間を実現してきました。



1995

独自開発の「シャードウッド構法」を採用した積水ハウスを代表する木造住宅シリーズ



1996

遮熱性・断熱性に優れた複層ガラスを標準採用し、吹き抜け空間やリビング階段など新しい暮らしを提案



1997

強度と設計自由度の高い新構法採用の3階建て住宅により、都市部で高まる3階建て住宅ニーズに対応



1998

陶器瓦の屋根とダイコンクリートの外壁材の採用により、住み継がれていく住まいを実現



2000

屋根材一体型の太陽光発電システムにより、外観・太陽光発電の設置・快適な生活・自然との共生を実現



2001

焼き物の風合いや土のぬくもりを活かし、耐久性に優れたベルバーン外壁により、上質な住宅を実現



2007

新開発の制震システムシーカス(SHEQAS)標準搭載の鉄骨造住宅で、地震に強い住まいを実現



2010

室内外がゆるやかにつながる軒下空間を設け、四季を感じながらゆったり過ごせるスローリビングを提案



2013

高断熱性と省エネ設備により消費エネルギーを大幅削減し、創エネ設備で「エネルギー収支ゼロ」を実現



2018

高断熱・耐震性を備え、柱や仕切りのない大空間リビングと広い軒下空間で、心地よい空間を実現



2019

都会でのプライバシーと光・風・緑に包まれた生活を実現する、鉄骨3・4階建て都市型戸建住宅を実現

1960-1990年

【第1フェーズ 安全・安心】住宅は木造が常識の時代に、鉄とアルミ、プラスチックを用いた新たな発想で、人々の命と財産を守る高品質な住まいを安定的に供給する体制を築き、多くの人々の暮らしを支えてきました。



1960 A型

鉄、アルミ、プラスチックを主材料に、洋風キッチンやダイニングルーム、内風呂を備えた憧れの暮らしを実現



1961 B型

尺モジュールより広い空間を実現するメーターモジュールを初採用し、窓枠にはアルミサッシを採用



1962

B型を2階建てにし、強度を保ちながら設計の自由度が高い「積水ハウスを代表する住宅」の次々と誕生



1978

屋根の勾配を利用することで、「グルニエ(屋根裏部屋)のある家」として初のネーミング住宅が誕生



1981

屋根にフェー(棟飾り)を設け、若年層をターゲットとした洋風でモダンなテイストの家を実現



1983

下見板張り風の外壁、切妻屋根を求め声に応え、瓦屋根と和風特有の外観・行まの衣装を実現



1983

強度と耐久性に優れた風格あふれるダイコンクリートを外壁材に採用し、都市部に新スタイルを実現



1984

外観と一体化したルーパバルコニーや2階屋根上のバルコニーで日光浴や天体観測を楽しむ空間を提案



1986

基本デザインは現在も継承するダイコンクリート採用の最高級住宅は初のグッドデザイン賞を受賞



1987

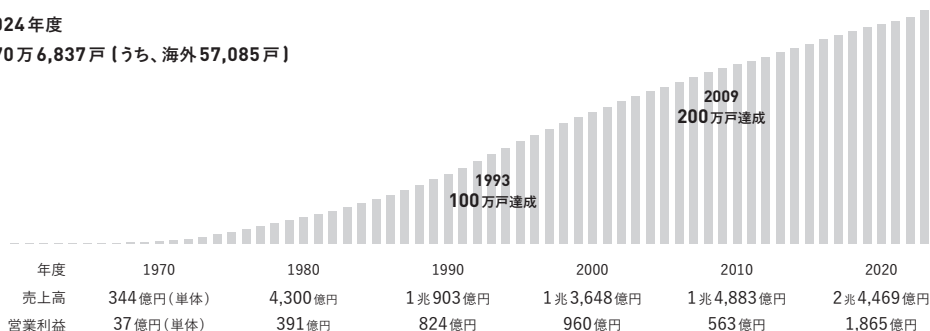
基本デザインは現在も継承するダイコンクリート採用の最高級住宅は初のグッドデザイン賞を受賞

## コーポレートストーリー

積水ハウスは、これまでに270万戸を超える住まいをお届けしてきました。住まいは幸せを育む場所だからこそ、私たちは、人生を共に歩む「パートナー」として、暮らしのすべてを支えたいと考えています。その想いのもと、住まいづくりに関わるすべてのプロセスを当社グループが担う独自のバリューチェーンを構築し、「住」を基軸とした事業領域を拡大。持続的な価値創造を可能にするビジネスモデルを確立してきました。

### 累積建築戸数

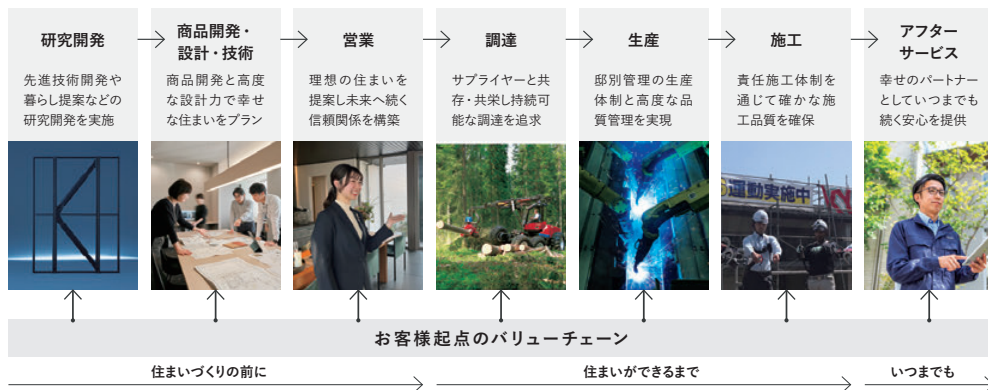
2024年度  
270万6,837戸（うち、海外57,085戸）



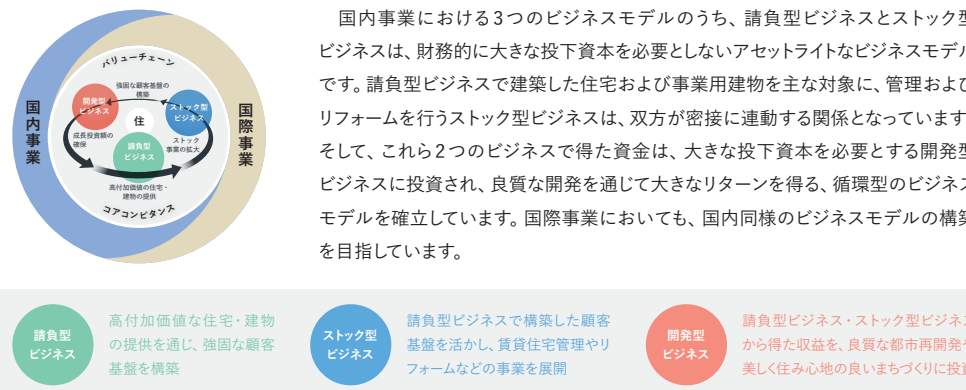
### 事業ポートフォリオ



### バリューチェーン



### ビジネスモデル解説



## コーポレートストーリー

## 時代を先駆けた、積水ハウスの歩み

積水ハウスの企業理念「人間愛」には、私たちの価値創造の原点となる3つの想いが込められています。一つ目は、「企業は人の集団である」という考えのもと、一人ひとりが「人間愛」を実践することで、全員参加の活力ある経営を実現し、持続的な成長を支える原動力となること。二つ目は、「お客様の幸せを願う心を持ち、その願いに応える商品を創造提供」することで、真のお客様満足を追及しながら、企業価値を高めていくこと。そして三つ目は、「常にお客様や社会に貢献できるものを目指す」という姿勢を持ち、商品開発や環境創造、新規事業の選択を進めていくことです。これらの想いが込められた「人間愛」は、常に世の中に先駆けて社会に貢献する価値を創造してきた、私たちの事業活動そのものです。そして、この想いは、時代が変わっても揺らぐことなく、現在ではESG経営という形で受け継がれ、進化を続けています。

## 積水ハウスが変えてきた、住宅業界の当たり前

誰もまだ踏み出していないこと。けれど、それに取り組むことで、誰かが幸せになれること。積水ハウスはそんな「はじめての一步」を積み重ね、次の時代の「当たり前」を少しずつ形にしてきました。ここにあるのは、大きく語られることのないストーリー。時代に先駆けて踏み出した「はじめて」の歩みの、ほんの一例をご紹介します。

1967年  
住宅業界における、  
「休日の革命」

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

お客様との打ち合わせが夜間や週末に集中し、休みの取れない働き方が当たり前だった時代に、営業所の水曜休日を導入しました。大切なのは、働く人を守ること。その想いは、住宅業界の働き方に新常識をもたらしました。

1986年  
一棟一式の  
生産体制

「家は現場でつくるもの」が常識だった時代。私たちは自社工場を設立し、工業化住宅の道を切り拓いてきました。最高品質を実現するために、家のづくりだけでなく、届け方の仕組みそのものも変えていったのです。

1990年  
開かれた研究拠点は、  
社会への投資

業界にも、お客様にも役立つ施設にしたい。そのためは、少々コストが高くなっても、それは社会への還元。そんな想いから、誰にでも開かれた国内最大級の研究拠点を設立し、住まいのあり方を変えてきました。

2018年  
幸せのための、  
男性育児休業

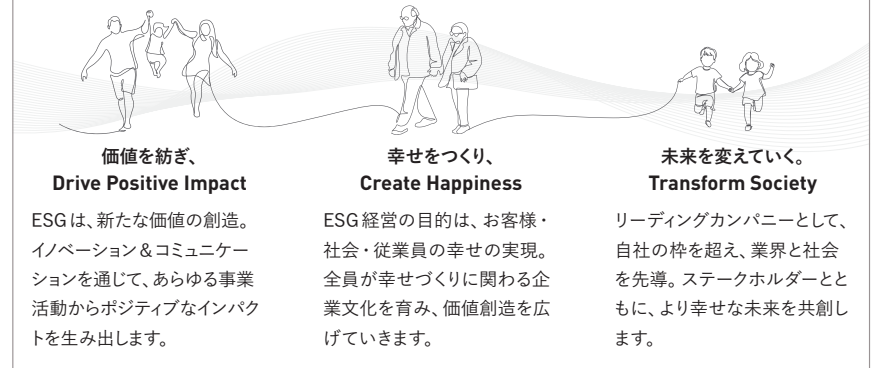
「子どもと一緒に過ごしたい。」そんな当たり前前の願いを実現するため、2018年に「1ヵ月以上の男性育児休業100%取得」を宣言。家族との幸せも会社が支える。その想いを、行動で示した取り組みです。

## 変わらぬ想いと、進化する価値創造

積水ハウスの事業活動は、時代に応じて変化しながらも、その根底にある想いは変わりません。それは、未来を見据え、社会に貢献する新たな価値を生み出し続けること。そして、その価値によって、お客様・社会・従業員の幸せを育み、新たな基準を築きながら、幸せを広げていくことです。

私たちは、ESG経営の領域においてもさらなるリーダーシップを発揮することを目指し、「ESG経営のリーディングカンパニーに」をサブビジョンとして策定しました。積み重ねてきた想いを「Our ESG Compass」として位置付け、どのような価値を生み出しているか、どのような幸せにつながっているか、どのような変化をもたらしているか、という視点を大切にしながら、未来に向けた価値創造を続けていきます。この3つの視点は、積水ハウスの過去・現在・未来をつなぐ軸であり、これからの時代においても変わらない、私たちの価値創造の源です。

## Our ESG Compass



→ P64-66 ESG経営のリーディングカンパニー